

平成 22 年 11 月 22 日
福祉部 高齢社会対策課

第 4 期（平成 21～23 年度）

練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 重点課題

地域貢献につながる社会参加の促進

（第 4 期計画書 p 58～59）

【第 4 期計画における目標】

高齢者が自らの希望や心身状況に応じ、知識や経験を活かして社会参加を進め、いきいきと暮らすことができる地域社会の実現を目指します。

【平成 21 年度当初の現状と課題】

高齢者の約 8 割は、元気な高齢者です（練馬区高齢者基礎調査報告書 p 21 参照）。また、高齢者はこれまでの人生で様々な知識、経験、技術を培っています。今後ますます進行する少子高齢化により、地域社会の活力低下が懸念される中、こうした元気な高齢者には、自らの知識、経験、技術を活かして、地域活動の担い手となり、地域社会の活力を維持していく役割が期待されています。

また、高齢者自身も多くの方が地域活動に参加する意欲を持っている状況がうかがえます。練馬区高齢者基礎調査（平成 20 年 3 月）によると、地域活動への参加状況について、「現在、何らかの地域活動に参加している」と回答した高齢者の割合は 17.0%ですが、「現在活動していない」と回答した方の 64.2%は、「参加に踏み出す条件が満たせれば、地域で活動したい」と回答しています（練馬区高齢者基礎調査報告書 p 33 参照）。

一方、高齢者が地域活動の一翼を担うことは、地域を誰にとっても住みやすい活力ある社会にするばかりでなく、高齢者自身のいきがいや健康づくりにも寄与するものとなります。

高齢期を、いきがいを持っていきいきと暮らせるよう、多様な社会参加への支援をさらに充実させるとともに、5 人に 1 人が高齢者となる前例のない高齢社会の到来に備え、高齢者が自らの知識、経験、技術を活かし、地域活動の担い手として、地域に貢献できる仕組みづくりを進める必要があります。

【施策の方向性と主な取組事業】

1 地域活動に携わる人材への支援

地域活動に参加意欲のある人材や豊富な知識、経験、技術を持っている人材が地域活動に円滑に取り組めるよう、人材育成や活動支援の充実を図ります。

(取組事業)

(1) 地域福祉パワーアップカレッジねりま (第4期計画書 p77)

高齢者をはじめとする区民の経験や能力を最大限に活かし、区民と協働で築く地域福祉を実現するため、「地域福祉パワーアップカレッジねりま」を、平成19年10月に開設しました。2年間の学習を通じ、地域福祉の向上に取り組む人材を育成します。

平成20年度 実績	現況	平成23年度末目標
①第1期生(21名)修了 ②第2期生(30名)修了	①第3期生(31名) ②第4期生(42名)	40人程度/1学年 (2年コース)

(2) 老人クラブへの支援 (第4期計画書 p78)

高齢者が身近な地域で社会奉仕やいきがい活動を行う場として、さらに、健康づくりや介護予防の担い手としての老人クラブや老人クラブ連合会の活動を支援します。また、高齢者の価値観の多様化などに対応した魅力ある活動を展開し、団塊の世代をはじめとした多様な高齢者の集う場とするため、老人クラブや老人クラブ連合会に助言等を行います。

平成20年度 実績	現況	平成23年度末目標
老人クラブ会員数 12,209人/20年度末	老人クラブ会員数 12,131人/21年度末	老人クラブ会員数 16,000人/23年度末

(3) 高齢者サークルへの支援 (第4期計画書 p78)

高齢者サークルが実施する事業のうち、地域貢献活動となる事業について、その経費の一部を助成します。

平成20年度 実績	現況	平成23年度末目標
助成団体数 17件	助成団体数 19件/21年度 20件/22年度(10月末時点)	助成団体数 30件/年

2 地域活動の拠点整備

高齢者センターや敬老館を地域活動の拠点として位置づけ、多くの高齢者が利用できるよう魅力ある事業の展開を図ります。

(取組事業)

(1) 高齢者センター・敬老館の活用 (第4期計画書 p77)

高齢者センターは、介護予防の中心的な拠点として位置付け、筋力向上トレーニングなどの介護予防事業の充実を図ります。

また、敬老館は、憩いとくつろぎの場の提供に加え、健康づくりや介護予防、社会参加支援のための事業の充実を図ります。

さらに多くの高齢者に利用していただくため、高齢者センターと敬老館の連携を図り、地域の人材などを活用し魅力ある事業を実施します。

平成 20 年度 実績	現況	平成 23 年度末目標
①高齢者センター（3館） 年間利用者数 延 144,186 人	①高齢者センター（3館） 年間利用者数 延 152,552 人／21 年度	①高齢者センター（3館） 年間利用者数 延 150,000 人／年
②敬老館（11館） 年間利用者数 延 209,357 人	②敬老館（11館） 年間利用者数 延 204,714 人／21 年度	②敬老館（11館） 年間利用者数 延 215,000 人／年

(2) 高齢者センターの整備・敬老館の改修 (第4期計画書 p78)

区内4館目となる高齢者センター（大泉地区）の整備に向けた準備をします。また、敬老館の機能を充実するため、計画的に改修します。

平成 20 年度 実績	現況	平成 23 年度末目標
①高齢者センター 3館整備	①4館目の高齢者センター整備のための候補地選定	①4館目の高齢者センター整備のための基本設計
②敬老館 3館改修済	②敬老館 4館改修済 ※1館（石神井台）改修 ／(21年度)	②敬老館 4館改修済

3 情報の発信

地域活動に積極的に参加するよう意識啓発を図るとともに、多様な社会参加の情報が高齢者にわかりやすく伝わる仕組みづくりを進めます。また、情報が届きにくいひとりぐらし高齢者、高齢者のみの世帯および日中独居高齢者には、より配慮した伝達手段、方法を検討していきます。

(取組事業)

(1) 情報発信の仕組みづくり (第4期計画書p79)

高齢者の社会参加のきっかけづくり、既に活動をはじめている方への情報提供など、有益な情報を効率的に収集し、ホームページをはじめとする様々な手段で、広く・的確に発信する仕組みをつくりまします。

平成20年度 実績	現況	平成23年度末目標
未実施	高齢者の社会参加を支援するポータルサイト「シニアナビねりま」開設(平成22年4月1日)	情報集約のため、地域の各種団体との連携・協力体制ネットワークづくり/23年度

【評価】

1 地域活動に携わる人材への支援

地域福祉の担い手として2年間学習してきた地域福祉パワーアップカレッジねりまの学生は、卒業後、高齢者見守り訪問員や民生委員・児童委員協力員への就任など、地域福祉の様々な分野で活動を行っています。

老人クラブや練馬区老人クラブ連合会は、高齢者が身近な地域で社会奉仕やいきがい活動を行う場として、また、健康づくりや介護予防の活動をしています。全国的に老人クラブ会員数が減少傾向がありますが、練馬区では、会員増強運動(1単位クラブあたり10名増を目指す)を取組み、会員数を維持しています。

2 地域活動の拠点整備

高齢者センターや敬老館を、高齢者の居場所および交流の場として、多くの高齢者が利用できるように、魅力ある事業の展開や、設備の充実を図っています。

また、高齢者センターや敬老館では、利用者それぞれの経験、知識を活かし自らが講師となり講座を開催するなど、地域貢献につながる活動の拠点となっています。

3 情報の発信

社会参加を支援する情報発信には、高齢者の多様な志向に対応することに加え、即時性が必要とされます。このため、様々な情報を随時発信できるインターネットを活用した情報提供の重要性が高まっています。

このような状況を踏まえ、平成21年度に、高齢者の社会参加に役立つ様々な情報を発信

するインターネット上のホームページの開設に取り組みました(平成22年4月1日開設)。

ホームページの運営にあたっては、高齢期の区民をサポートとして公募し、同世代の視点を取り入れた記事構成とする等の工夫に努めることで、現在、月平均で約1,000人(実数)の利用があり、好意的な評価をいただいています。

【平成22～23年度の取組に向けて】

1 地域活動に携わる人材への支援

地域福祉を担う人材の育成と育成した人材を活かす仕組みづくりを目指す地域福祉パワーアップカレッジねりまでは、現在、2期までの卒業生が誕生しています。学んだ経験・知識を地域に還元・活用できるように卒業後も育成した人材を活かす仕組みづくりとして、①卒業生の自主活動の支援、②仲間づくり・ネットワークづくりの支援、③活動に関する相談などを通じて支援を進めてまいります。

高齢者が地域社会に積極的に参加・貢献し、いきいきとして健康な生活を送るため、老人クラブや練馬区老人クラブ連合会の自主的な活動支援を進めます。

2 地域活動の拠点整備

さらに多くの高齢者に利用していただくため、高齢者センターと敬老館の連携を図り、地域の人材などを活用し魅力ある事業を実施します。

3 情報の発信

ホームページ等の情報を価値あるものにするには、利用者である高齢者にとって魅力ある情報発信を継続することが重要です。

高齢者向けホームページ「シニアナビねりま」の区民サポーターとの協働により、高齢者のニーズを的確に把握し、多くの高齢者にとって、社会参加のきっかけづくりとなる情報の発信となるよう工夫していきます。

また、ホームページ運営を通じて蓄積した情報を、冊子等の媒体へも活用することで、より多くの高齢者に必要な情報が伝わるよう検討します。